

HAYDN & MENDELSSOHN

愛知県立芸術大学 **芸術創造センター** 主催事業 メンデルスゾーンスペシャル 2009

愛知芸大弦楽アンサンブル特別演奏会

with

G.ボッセ 「1809-2009 ハイドンからメンデルスゾーンへ」



出演

指揮 ゲルハルト・ボッセ

独唱 アルト: 中巻寛子 テノール: 二神二朗 バリトン: 末吉利行

合唱 愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻学生

オーケストラ 愛知芸大弦楽アンサンブル・愛知県立芸術大学音楽学部管打楽器コース学生

プログラム

J.ハイドン: 十字架上のキリストの最後の七つの言葉 (弦楽合奏版)

F.メンデルスゾーン: 最初のワルプルギスの夜 Op.60

2009年10月4日(日) 開演 15:00 開場 14:30

愛知県芸術劇場 コンサートホール

全自由席 一般1,000円(当日1,500円) / 学生500円 愛芸アシスト会員: ご招待

星野宏美氏と安田和信氏によるプレトーク 「メンデルスゾーンとハイドン」 14:00より(開場13:45)

チケット発売 7月27日(月)

チケット販売所 愛知芸術文化センタープレイガイド(052-972-0430) / 宗次ホールチケットセンター(052-265-1718) /

チケットぴあ(0570-02-9990 Pコード331-684) / 愛知県立芸術大学学務部芸術情報課(0561-62-1180)

電子チケットぴあ pia.jp/t
0570-02-9999

主催 愛知県立芸術大学芸術創造センター

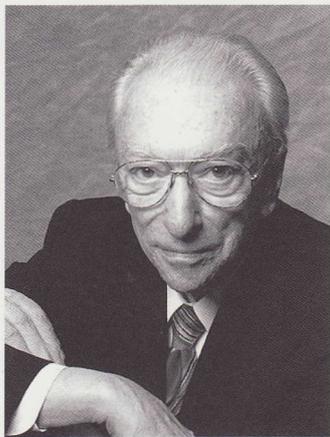
共催 中日新聞社

企画 愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻弦楽器コース / 愛知県立芸術大学芸術創造センター

後援 Goethe-Institutドイツ文化センター、日本メンデルスゾーン協会、愛知県立芸術大学を支援する会(愛芸アシスト)、愛知県立芸術大学音楽学部同窓会

お問合せ 演奏会について...愛知県立芸術大学芸術情報課 電話0561-62-1180 愛芸アシストについて...愛知県立芸術大学を支援する会 0561-63-8400

*未就学児のご入場は、お断りすることもございます。*愛芸アシスト会員の方は、ご案内に従い事務局へお申し込みください。



指揮:ゲルハルト・ボッセ Gerhard Bosse (ヴァイオリニスト・指揮者)

1922年ライプツィヒ近郊のヴルツェン生まれ。ライプツィヒ音楽院でE.ヴォルカント、W.ダヴィッソン両教授に師事。1946年ワイマール音大で講師・教授を歴任した後、1951年ライプツィヒ放送交響楽団第1コンサートマスター、そして母校ライプツィヒ音楽院の教授に就任。

1955年からは、ゲヴァントハウス管弦楽団第1コンサートマスターとして、コンヴィチュニーら歴代の首席指揮者のもと、1987年まで活動。室内楽奏者としての評価も高く、1955年ゲヴァントハウス弦楽四重奏団第1ヴァイオリン奏者となり、1962年にはゲヴァントハウス・バハ管弦楽団を創立、ソリスト・指揮者として活躍した。1962年、1986年ドイツ民主共和国国家賞、1972年、ライプツィヒ市よりニキシュ賞、後に同市芸術賞も授与される。

1961年から来日を重ね、1980年霧島国際音楽祭・マスタークラスを創立。2000年まで音楽監督を務め、現在も名誉音楽監督、講師、指揮者として後進の指導に当たっている。1994年から2000年まで、さらに2001年から2002年まで東京藝術大学客員教授。近年は指揮活動に専念し、新日本フィル、東京都響など日本の多くのオーケストラに客演し、高い評価を得ている。1987年、1988年にはゲヴァントハウス管弦楽団を指揮。1998年神戸室内合奏団首席指揮者、2000年4月より音楽監督に就任。2000年9月より新日本フィル首席客演指揮者、2002年2月同ミュージック・アドヴァイザーに就任。1998年ドイツ連邦共和国政府より功労十字勲章(1等)を授与される。2003年4月より東京藝術大学チェンバーオーケストラの指揮者を兼任。2005年神戸市文化賞受賞。2008年エクソンモービル音楽賞受賞。



アルト:中巻寛子

東京芸術大学音楽学部音楽科卒業。同大学院修士課程ならびに博士後期課程修了。博士(音楽)。大学院在学中より17~18世紀イタリアの声楽曲を専門分野とし、世に知られていない作品を世界各地の図書館で発掘、研究しながら独自の演奏活動を行っている。また、J. S. バッハやG. F. ヘンデル等の宗教曲のソリストとしても豊富な演奏歴を有し、その温かな声と深い知識に裏打ちされた的確な演奏解釈で常に高い評価を受けている。現在、愛知県立芸術大学准教授。



テノール:二神二郎

愛知県立芸術大学卒業。東京芸術大学大学院オペラ科修了、ミラノ・スカラ座オペラ研修所修了。トリノ国際コンクール第1位、スカラ座国際コンクール第1位、アレサンドリア国際コンクール第1位、ベニアミーノ・ジューリ国際コンクール第2位、ジュネーヴ国際コンクール銀賞など数々の国際コンクールに入賞。ブレーシャ大歌劇場にて《セヴィリアの理髪師》のアルマヴィーヴァ公爵役でデビュー。ミラノ・スカラ座他、数多くの歌劇場に出演。現在、愛知県立芸術大学教授。



バリトン:末吉利行

東京芸術大学、同大学院修了。第25回ジローオペラ賞、新人賞を受賞。バッハのカンタータや受難曲、ハイドン、ヘンデル、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、ブラームス、フォーレなどの宗教曲を数多く演奏し、高い評価を得ている。オペラでは、《ドン・ジョヴァンニ》のタイトルロール、《フィガロの結婚》のフィガロと伯爵、《魔笛》のパパゲーノをはじめ、数多くのレパートリーを持っている。二期会会員、横浜シティーオペラ会員、青の会会員、愛知県立芸術大学教授。

HAYDN & MENDELSSOHN



愛知芸大弦楽アンサンブル

アンサンブルの分野での研究や演奏活動に情熱を傾けてきた弦楽器コースの専任教員(ヴァイオリン 福本泰之、白石禮子、桐山建志、ヴィオラ 百武由紀、チェロ 天野武子)と、若さ溢れる学生が、ひとつになって演奏に取り組もうという発想から2004年に結成された研究団体。しらかわホールでのコンサートのほか、今までに東京や富山への演奏旅行、聖霊修道院などでのチャリティーコンサート、大学定期演奏会、千種文化小劇場「山の手音楽祭」などに出演。十数名の小編成から大編成までの可能性と、バロックから近現代までの幅広いレパートリーを持ち、意欲的に演奏活動を行っている。

星野宏美 (立教大学准教授・音楽学)

著書に『玉川大学教育博物館所蔵メンデルスゾーン自筆ピアノ譜ゲーテの詩に基づく《最初のワルブルギスの夜》』(雄松堂)、論文に『モーツァルトとメンデルスゾーン《ジュピター》のピアノ連弾用編曲をめぐる』など。

安田和信 (音楽評論家)

共著書に『音楽史を聴く』『モーツァルト』(学習研究社)等、共訳書に『モーツァルト大事典』(平凡社)、『モーツァルト全作品事典』(音楽之友社)がある。『レコード芸術』で新譜月評(再発売)、『読書新聞』で演奏会評およびCD評を担当。

関連事業の案内

愛知県立芸術大学サテライト講座より -メンデルスゾーン・スペシャル-

会場:愛知芸術文化センター アートスペース

9月12日 「ワルブルギスの夜」をめぐる ゲーテとメンデルスゾーン 大塚直(教養教育ドイツ語准教授)

9月17日 メンデルスゾーンの弦楽四重奏曲 桐山建志(器楽専攻弦楽器コース准教授)

9月22日 メンデルスゾーン⇄ライプツィヒ⇄J. S. バッハ 天野武子(器楽専攻弦楽器コース教授)

愛知県立芸術大学音楽学部 第42回 定期演奏会

10月13日/14日 愛知県芸術劇場コンサートホール

第1夜 メンデルスゾーン:三つのモテット 指揮/長谷順二 女性合唱/愛知県立芸術大学女声合唱団 オルガン/徳岡めぐみ

愛知県立芸術大学管弦楽団第20回定期演奏会 第20回定期演奏会

11月24日 愛知県芸術劇場コンサートホール

メンデルスゾーン:序曲リュエ・ブラス、バルトーク:管弦楽のための協奏曲 ほか

愛知県立芸術大学 弦楽合奏 第4回定期演奏会

12月17日(木)しらかわホール

F. メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 イ短調 op.13(弦楽合奏版)、J. スーク:弦楽のためのセレナーデ ほか